

議会だより

No.43

平成29年2月14日発行



消防出初式（平成29年1月5日イオン有家店駐車場）

主な内容

- 平成28年度一般会計・特別会計補正予算P2～P3
- 一般質問に13人が登壇「市政を問う、.....P4～P11
- 委員会活動P12～P17
- その他P18～P20

正予算(第5号)

可決

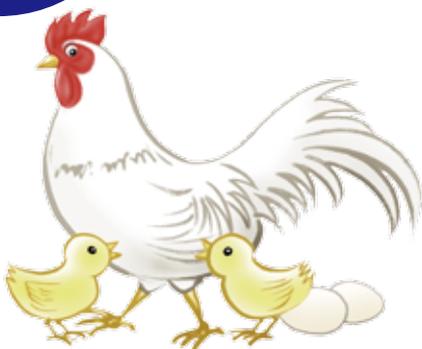
総額：354億5,486万7千円

総額と比べると：16億7,819万7千円の増

畜産 振興支援 事業

1億598万8千円

畜産クラスター構築事業費補助金
事業費2億198万円(市1/20)



家畜導入 事業



136万円

新たな一貫生産体系育成事業補助金
17万円/頭×8頭

公共土木 施設災害 復旧事業



1億1,000万円

道路27箇所⇒35箇所
河川80箇所⇒99箇所

南島原 ひまわり観光 協会支援事業 (重点)

800万円



熊本地震による民泊キャンセルで
観光協会の運営に支障をきたすため

小学校 就学援助 事業

33万9千円

新入学児童学用品費
(H29新1年生)
1万9,900円×17名



中学校 就学援助 事業

121万4千円

新入学生徒学用品費
(H29新1年生)
2万2,900円×53名



南島原市
28年度

一般会計補正

補正額：5億375万4千円 **増額**

主な補正事業

《前年度の12月補正後の

臨時福祉
給付金
支給事業

2億980万7千円

臨時福祉給付金
1万5千円×1万3千人=1億9,500万円
事務費 962万9千円
H27 返還金
517万8千円



強い
農業づくり
交付金事業



218万2千円

産地パワーアップ事業費補助金
事業費 4,366万円 (市5/100)

農業用
施設等整備
支援事業

310万円

農道等維持管理工事費
有馬干拓内農道舗装 L=70m



農道
整備事業

633万8千円

雲仙グリーンロード
耐震対策事業負担金
橋りょう2本



南島原市
28年度

国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)

補正額 4,960万5千円の増額

可決

総額：108億1,767万円

《前年度の12月補正後の総額と比べると1億4,253万2千円の減》

平成27年度療養給付費等負担金及び特定健診・特定保健指導負担金交付額確定に伴う国及び県への返還金の増額補正を行う

来年度は事業費を増やす考えは

市長 / 努力をしていきたい



林田 久富 議員

農林行政について、昨年度までは5割補助であったのが本年度からは8割補助となった施策について

林田議員 昨年と比較して事業費はどうなったか。
松本市長 当初予算では、昨年度より800万円を増額し、2,000万円を計上した。

林田議員 今年の夏頃は事業費が足りないと言った事だったが、原因は。
松本市長 補助率を8割に引き上げたことや、6月の豪雨に伴う被災箇所が昨年より増加したことが、主な原因であると考えられる。

林田議員 現在、何件の事業が出来ていないのか。

松本市長 申請された全てについて対応している。

林田議員 来年度は事業費を増やす考えは。

松本市長 積極的に取り組んで行きたい。

林田議員 この事業の要件は。

農林水産部長 農道とか水路等、受益者が2戸以上の農業用施設に対して、事業費の限度額が200万円、それに対する8割の160万円が補助金の上限という事になる。



平成28年6月豪雨時被害

建設行政について、昨年度までは4,000万円であったが、本年度は8,000万円にして対応をされている事について

林田議員 現在、要望箇所は何件あるのか。

松本市長 合併後584件の要望があった。そのうち375件は対応済み、残りは209件である。

林田議員 優先順位の基準、また関係者への説明はどうされているのか。

松本市長 危険な箇所や二次的被害の恐れのあるものを優先的に対応している。

林田議員 来年度は事業費を増やす考えはあるか。

松本市長 できるだけ早く市民の要望に答えられるように努力をして行く。

建設部長 今年から、道路及び水路の改良工事などを自治会主体で施工する場合、市が補助をするという事、金額の上限が30万〜200万まで。これまで法定外公共物、赤道など市では対応できなかった箇所を地元主体で施工する時などにこの補助金を出す。

下水道事業について

林田議員 合併浄化槽の設置基準は。

松本市長 浄化槽設置が認められていなかった、中原ため池水源及び宮原水源地域については、設置できるようになった。

議会ミニミニ通信

大分県由布市議会のみなさんが南島原市を訪れました

平成28年11月7日に大分県由布市議会の教育民生常任委員会の6名が視察研修のため南島原市を訪れました。

研修事項は「布津福祉センター」「湯楽里」について、「廃校を活用した『南島原食堂』」についてでした。

初めに、有家庁舎の会議室にて、研修項目についての説明と質問が行われました。

その後、現地視察のため、旧塔ノ坂分校にある南島原食堂へ移動し、現地視察を行い、最後に布津町にある湯楽里へ移動し視察を行いました。



由布市議会教育民生常任委員長挨拶



南島原食堂

南島原食堂では、集客の工夫をはじめ、調理の方法や、予算、南島原食堂の目的について質問があり、湯楽里では、温泉施設の目的、入浴料金の価格設定や客層、湯量などについての質問がありました。



市長挨拶

すこやか子育て支援による経済的負担軽減を

市長 / 今後の取組みを検討する



松永忠次 議員

高齢者の交通安全対策について

松永議員 全国的に高齢者による交通事故が多発しているが、本市の対応はどのような状況か。

松本市長 昨年は109件の交通事故が発生し、その内、高齢者が関係する事故数は57件であった。今年も11月現在で99件発生し、高齢者が関係する事故は40件である。

松永議員 対策はどのように考えているか。

松本市長 南島原警察署や交通安全協会、交通安

全母の会の協力により啓発活動を実施している。

松永議員 免許証を自主返納された方々への、タクシー券発行のお考えはないか。

松本市長 高齢者の交通安全対策という観点から研究、検討してまいりたいと考えている。

未来に期する赤ちゃん支援について

松永議員 子育てや家庭の経済的負担軽減、安心して子供を産み育てる環境と、次世代を担う子供達の健やかな成長に資するための紙おむつや粉ミルク、その他の育児に要する費用の一部を助成する考えは。

松本市長 今現在、少子化対策として、保育料基準額そのものの引き下げ又、多子世帯に対する保育料軽減策として、今年度は同時入所の場合、第2子の保育料を無料にしている。

松永議員 本市は、他市より保育料の軽減措置を

しており大変評価するが、すこやか赤ちゃん制度を導入すれば、もっと子育てしやすい市になるのでは。

松本市長 既存の事業や財政面などを総合的に勘案し、今後の取組みを検討する。



市道について

松永議員 市全体の市道の路線数は。

建設部長 2,209路線。

松永議員 どのくらいの延長か。

建設部長 延長は1,088キロメートル。

松永議員 管理体制は万全か。

建設部長 万全というまでは、当然なかなか届いていないが、昨年度から道路パトロールのため4名の臨時職員を雇用し、巡回や補修をやっている。

機構、庁舎再編については、ゼロベースで考えるのか

市長 / 現時点では、そういうことだ



吉田幸一郎 議員

行財政改革について

吉田議員 27・28年度施政方針でも、定員適正化計画による庁舎再編計画を言われていたが、現在停滞しているようだが、どうなっているのか。

行革推進室長 職員定数削減に伴う組織の考え方は、部署の統廃合を進めて管理職のある程度削減する。庁舎の見直しは、現3庁舎を使うという事であるので、若干制約は受けるが、収容人員などを考えながら検討する。

吉田議員 前市長、現市

事ではない。

吉田議員 ということは、まずは順番でいけば耐震をして、その後、もう一回どのようなスペース活用があるのかを考えて、それからまた再編を考えていくということか。

松本市長 そういう順番になるかと思う。

吉田議員 振り出しに戻るといふことか。今までそのような事を含めて協議されてきた中での、増築や新築の提案ではなかったのか、その点はどうか。

松本市長 両方に係ってくるかと思う。



市役所職場風景

核兵器禁止条約の交渉に関する決議案採択についての見解は

市長 / 123カ国もの賛成多数での採択は大きな1歩である



小林 知 誠 議員

核兵器禁止条約について

小林議員 2016年10月27日国連総会の第1委員会は、核兵器禁止条約の締結交渉を来年開始する決議案を、賛成123カ国という圧倒的多数で採択した。これに対する市長の見解を伺いたい。

松本市長 123カ国もの賛成多数で採択されたことは、核兵器のない世界に向けた大きな一歩である。

小林議員 唯一の被爆国の日本政府が、反対の態度をとったことへの見解は。

松本市長 被爆長崎の自治体の長として、残念な思いである。

小林議員 日本政府は国民多数の立場に立ち、核兵器禁止条約の実現に力を注ぐべきと考えるが。

松本市長 決議が賛成多数で採択されたことを受け、岸田外務大臣は、交渉に積極的に参加し、唯一の被爆国としてしっかりと主張すると発言されているので、今後注視していきたい。

国連総会第1委員会(軍縮・国際安全保障問題)決議案採択「核兵器禁止条約」交渉開始決議への各国の対応

賛成123カ国	反対38カ国	棄権16カ国
メキシコ オーストリア エジプト 南アフリカ スウェーデン 東南アジア諸国 中南米等	米国 英国 フランス ロシア イスラエル 日本、韓国 オーストラリア等	中国 インド パキスタン オランダ スーダン カラグア等

トクシユンシ

小林議員

南島原市での

いじめに対する調査・措置をどの様に講じているのか。いじめの把握は。

教育長 25年度は小学校4件、中学校14件、

26年度は小学校1件、中学校9件。

27年度は小学校6件、中学校9件である。これらの事案はすべて解決したと判断している。

小林議員 いじめの防止には教師が子どもと密接に関わる時間が必要である。しかし現場は、多忙すぎてそのような時間が取れない。教材研究の時間さえ取れない状況である。

教育長 多忙をなくす手立てとして、毎月第2水曜日を、子ども・教職員とも帰る日として提案。週1回は定刻に帰る環境を作るように指示し、現場で取り組んでいる。

専決処分について

小林議員 予算を伴う議案の議決は議会の権限である。臨時議会を開いて議決すべきである。

議会ミニミニ通信

福岡県みやま市議会のみなさんが南島原市を訪れました



議会報編集特別委員会委員長挨拶

平成28年11月14日に福岡県みやま市議会議会報編集特別委員5名と事務局職員が南島原市議会広報紙の研修のため、視察に訪れました。

南島原市議会からは、広報編集特別委員会の中村副委員長と下田委員が説明のため対応しました。研修では初めに、みやま市議会の委員長と中村副委員長の挨拶があったのち、南島原市議会事務局職員から、南島原市議会だよりの作成スケジュールや役割分担、記事の割り当ての方法などについて説明がありました。



議会報編集特別委員会集合写真

その後、質問や意見交換が行われました。この中で、2市の一般質問の原稿のまとめ方と掲載の仕方、表紙写真の被写体の選び方の違いなどについて話し合いました。

両市の議会だよりで、掲載している記事や工夫の仕方に違いがあり、視察を受け入れた南島原市議会にとっても、大変有意義な時間となりました。



就学援助制度の案内は長崎市方式に学べ

教育長 / しっかり改善を図ってきたい



桑原 幸治 議員

就学援助制度について

桑原議員 南島原市の就学援助の利用率は低過ぎる。

教育長 私どものホームページは、長崎市と比べれば本当に貧弱だ。周知を徹底する一つの道具としてしっかりと改善を図っていききたい。援助を受けるのは権利ですと、周知の中に入れてたい。

桑原議員 就学援助の申請書は、長崎市のように学校から全ての子供、家庭に渡すように改めるべき。

き。南島原市は、申請したい人は学校や支所に行ってもらってくださいとやっている。本当に就学援助に取り組もうという姿勢が感じられない。

教育次長 周知の段階であわせて申請書をさしあげることが可能だと思っている。子供たちに寄り添っていききたい。

所得のめやすについて

桑原議員 制度のお知らせでは、給与所得者の場合は収入、事業所得者の場合は所得になっており、給与所得者が明らかに不利である。長崎市のように所得に統一すべきである。なぜ早く改正しないのか理解に苦しんでいる。

教育長 私も不平等感というか、認識している。**教育次長** 教育長と相談の上で今検討している。

桑原議員 新入学用品費の支給については、時期を早め、補助額も実態に合わせて引き上げるべき。

教育次長 2月から3月の初めに支給できるように。

にした。補助額については文部科学省が見直すという情報も入っている。それに沿って検討したい。

桑原議員 補助金の増額など、国に要求している。

教育長 市町村教育長会や全国都市教育長協議会で決議し、国に要求している。

市長の政治姿勢について

桑原議員 平和安全保障法制は、海外での武力行使を可能とするもので、武力の行使を禁じた憲法第9条に明らかに違反している。

松本市長 国会において議論が重ねられて、正式に決定されている。尊重する必要があると考えている。

就学援助制度の利用率 (H25年度)

県下自治体(市)	%	県下自治体(市)	%
長崎市	28.1	雲仙市	12.7
五島市	22.9	佐世保	12.1
島原市	16.7	壱岐市	12.0
大村市	15.7	西海市	11.9
諫早市	15.5	南島原市	11.1
松浦市	14.3	平戸市	8.1
対馬市	13.5		

世界遺産登録に向けての周辺整備は

市長 / 今後しっかり進めていく



田中 次廣 議員

南島原市世界遺産周辺整備計画について

田中議員 原城跡の世界遺産登録に向けて、今後周辺整備をどのように行うのか。

松本市長 原城周辺に、歩行者向けのサインを設置する。

田中議員 平成26年の世界遺産周辺整備計画には、南有馬庁舎周辺地区は、町に活気と賑わいを生み出す景観整備を進めるとなっている。又、昨年、町なか空き家の活用、既存店舗の改修など検討す

るとの事だったが、どの様に進めるのか。

松本市長 しっかりとした段階まで入っていないのが現状である。

田中議員 世界遺産登録を目前にして、周辺整備についての思いは。

松本市長 世界遺産を、どのように地域振興につなげていくかとの点では遅れている。要望書も32団体から出ている。現在、周辺整備は進んでいない、今後しっかり進めていく。

田中議員 富岡製糸場などは、世界遺産登録を見据え、数年前から、計画に基づき周辺の整備を行っている。南島原市においても、周辺整備を早急に進めるべきでは。

副市長 指摘はごもつ



世界遺産登録に向けた駐車場工事

ともと思う。具体的な実現に向け努力する。

田中議員 世界遺産登録により、南島原の振興が図られることが大切と思う。その施策をぜひ講じていただきたい。

平成29年度の予算編成について

田中議員 29年度の予算編成では、どのような事業を計画し、また見直しをするのか。

松本市長 普通交付税の合併算定替の段階的縮減を踏まえ、歳入歳出全般にわたり、徹底した見直しを行う。住み続けたいまち、住んでみたいまちの実現を具体化するため、南島原市創生特別枠を設け、これらに該当する事業には重点的に配分する。

田中議員 今後の財政の見通しは。

財政課長 普通交付税の段階的縮減が始まっており、歳出も毎年減額を見込まなければならぬ。今後の財政見通しは厳しくなることが予想される。

布津漁港の完成予定はいつか

市長／平成30年度完成を見込む



吉岡 巖 議員

布津漁港改修について

吉岡議員 何を根拠に設計をされているのか。使う漁業者の意見や要望は、なぜ聞けないのか、その理由は。使う人が地域の環境を一番分かっている訳で、聞き入れない理由をお聞かせ願いたい。又、いつまでに完成の予定か。

松本市長 漁協より提出をされた要望書に基づいて設計を行っており、できる限りの対応をするようにしている。平成29年度の完了を目指し予算案

望を行っているが、満額内示は厳しいとの情報もあり、平成30年度完了を見込んでいる。



布津町民グラウンド

布津町民運動場改修について

吉岡議員 完成はいつごろの予定か、大体12月ぐらいという当初の予定だが、何月位に完成するのか。

教育長 布津町民運動場の完成は、防球ネット等の追加工事があり、平成29年1月を予定している。

有家白崎バイパスについて

吉岡議員 藤原市長の時25年度に着工予定と答弁されていたが、その後質問した時は、県が高規格道路を計画しているとの

説明であった。又、松本市長は当面の間は、島原鉄道跡地を利用する答弁をされていたが、その後の計画について説明を。

松本市長 有家運動公園周辺の道路計画については、各種大会が開催された時の国道へのアクセスや、地域の渋滞緩和対策の一環として、取り組んでいるが、今年9月に周辺の5人の自治会長さんにお集まりいただき、意見交換会を開催した。時期を明確に示してほしいとのことだが、着手時期等については、今後、地権者や地域の皆様の総意をいただきながら、道路計画を検討していきたい。



有家町白崎バス停前

将来世代の雇用確保を

市長／説明責任を果たし推進する



隈部 和久 議員

隈部議員 雇用について、日本トータルテレマーケティング(以下NTM)より、現在の200名雇用に加え、さらに100名を増員するための深江庁舎1階部分の借用要望が白紙撤回されたという事だが、その顛末は。

松本市長 市としても、このような大型雇用についてはぜひ推進したいと考えて、深江地区に於て、自治会長や住民説明会で説明したが、理解を示さなかった。NTM側としても、

地元には迷惑をかけるのは本意ではない、ということとで撤回された。

が、それでも100%の賛意を得るのは不可能である。本市の将来に大いに貢献、寄与すると判断した場合は、トップとして決断し遂行すべきである。地元で就業し、子育てしたいと考えている若者世代の為に、この案件を再び旭上にのせるよう体制を整えるべきである。

松本市長 私は同様な想いは持っており、10月半ばにNTM本社を訪問し、今後についての協議や市としての協力体制の話をしてきた。

隈部議員 現況を変えるときには必ず反対は出る。十分な説明責任を果たし、理解を得ることは当然だ

その他の質問
○高齢者の自動車運転事故防止の対策として、福祉タクシー券の活用ができないか。
○本市の条例・規則について、合併後10年を過ぎ、見直しをし、改正や手直しをすべき物があるのではないか。



深江庁舎

2台目防災ラジオの有償での配布は

市長／FMしまばらを通じて販売をお願いする



中村 久幸 議員

自動音声応答装置について

中村議員 提案から4年半後の今年、ようやく設置されたが、その後の利用状況と回線番号は。

松本市長 防災無線からの放送を聞き逃した場合、再度聞きたい時は、電話番号「0967-8216255」か「0957-8216256」へかけると聞くことができる。利用状況は今年4月から11月までに937件の問い合わせがあった。

不燃物の収集方法について

中村議員 可燃ごみの完全ステーション収集が浸透した後で、不燃物の収集にも着手するよう計画しているとのことだったが、いつから実施されるのか。今後の計画は。

松本市長 来年度、29年4月から、ごみステーションでの収集を実施する。毎月2回、第1、第3日曜日とか、地区によっては第2、第4日曜日と、6町分についてそれぞれ分けて、月に2回は収集できるように考えているが、今後、各自治会長に説明をし、自治会の回覧や広報紙等で周知を図っていくように考えている。



ゴミステーション

人口減少対策について

中村議員 若い人たちがいながら、なかなか結婚されない方が多いということを危惧しているが。

松本市長 市では、婚活事業の一つとして、7月に2日間、真砂において恋活パーティー・イン・真砂を実施し、3組のカップルが誕生した。10月と11月にも、同様の恋活パーティーを開催している。

中村議員 仲人に長けた人たちを募集して、結びつけるお世話など、何か取り組みはできないものか。

松本市長 今まで仲人多くされた方から「私たちが仲間と連携を取りながら、しっかりと仲を取り持っていけないと、なかなか今の若い人たちは自分からは踏み出さないね」という話を聞いて、そういう方々の連携を組んでいく仕組みとか、きっかけを、市としても思えばならないという思いはある。

短期間で効果の出る人口増加対策を

市長／妙案があれば



下田 利春 議員

島原鉄道跡地について

下田議員 廃止から長年経ち、隣地の方が管理された場所と、荒れ放題の場所がある。一括譲渡の説明であったが進捗状況は。

松本市長 登記簿や公図をもとに、土地の課題の抽出が概ね完了、譲渡に向けた調整に入っている。

下田議員 基本的な条件は決まっているのか。

松本市長 一括譲渡と、一部分島鉄利用が基本的な条件である。

下田議員 現在、一括譲



島鉄跡地

教育環境の充実が重要施策であるが、基本は出生率を上げることである。短期間で効果の出る人口増加対策の考えは。

松本市長 そうした妙案があれば、ほしいなあという実感はある。

下田議員 まち・ひと・しごと創生事業は人口減少対策であり、出生率が上がると交付税加算がある。産める環境の人にと1人・2人産んでもらう対策、例えば4人、5人目に特別祝い金、表彰制度等を、時限条例を創設し、出生率日本一を目指す考えはないか。

松本市長 議員の発言、思いを十分受け止めながら、市行政として何ができるか考えていく。

少子化対策について

下田議員 少子化対策に該当する事業は。

松本市長 すこやか子育て支援、医療費の助成や予防接種の充実、特定不妊治療費助成等である。

下田議員 少子化対策は全自治体の重要政策問題である。子育て、保育、

南島原市と隣市の出生率

	南島原市	島原市	雲仙市
平成26年	2.16	2.04	1.84
平成25年	1.99	1.85	1.85
平成24年	1.98	1.86	1.75

※合計特殊出生率

給食センター建設事業と周辺の道路整備は並行して行うべき

市長／そのような考えで進めていきたい



柴田 恭成 議員

平成29年度以降の本市財政状況の見通しについて

柴田議員 合併による優遇措置も28年度から縮減が始まり、33年度からは一本算定となり、普通交付税も縮減され厳しくなるが、今後の財政の見通をどう考えているか。

松本市長 厳しい財政状況が続くと考えている。

柴田議員 今後の人口減少、高齢化社会を見据えて持続可能な財政運営をしていく事が必要だと考えるが。

松本市長 市民にとって真に必要な事業を推進し

ていく事が重要だと考えている。

平成29年度の予算編成方針について

柴田議員 前例踏襲的な予算要求だけでなく、事業部局の自主性・主体性を高め、財政状況への認識やコスト意識を持った新たな事業も予算に反映させるべきだと思うが。

松本市長 全ての事業に優先順位をつけて要求するよう指示した。

柴田議員 非構造部材の耐震化工事で3校分が採択され、堂崎小学校体育館の大規模改修、有家中学校校舎と体育館の防災機能強化事業については、前倒しで要望した。

平成28年度国の第二次補正予算について

教育次長 各学校の洋式トイレについては要望したのか。

柴田議員 今回は申請していないが、今日の生活様式に鑑み、積極的に進めてまいりたい。

教育次長 農業の担い手育成と確保対策の取り組み状況は。

松本市長 農業後継者組織支援事業など担い手の育成・確保に努めている。農機業のレンタル事業等も考えるべきだと思うが。

農業振興について

松本市長 十分検討していきたいと思う。

柴田議員 給食センター供用開始までの流れについてはどのように考えているのか。

松本市長 平成29年度に基本設計、実施計画、一部校舎の解体。平成30年度、31年度に建設を行い、平成32年度の供用開始を考えている。

給食センター建設事業について

松本市長 平成29年度に基本設計、実施計画、一部校舎の解体。平成30年度、31年度に建設を行い、平成32年度の供用開始を考えている。

教育次長 平成29年度に基本設計、実施計画、一部校舎の解体。平成30年度、31年度に建設を行い、平成32年度の供用開始を考えている。



給食センター予定地 (旧龍石小学校)

「南島原市後期総合計画」における少子化対策の成果は

市長／現在、出生率は2.16人と、半島三市では一番、県内でもトップクラスとなった



金子憲太郎 議員

少子化対策について

金子議員 大学の誘致は可能性がないのか。

松本市長 現在、大学は少子化による募集停止や利便性の良い場所への移転を進めており、現実的には難しいと考える。

金子議員 確かに大学全体は難しい面があると思うが、例えば農・畜産学部とか、水産学部などの誘致についてはどうか。

松本市長 難しい部分もあると思うが、小学校統合後の廃校舎の活用を考

えると、色々な専門学校なども大いに考えて良いと思う。

教育問題について

金子議員 保育所から高校までの一貫した教育を行っているのか。

教育次長 児童・生徒の諸問題について情報交換をし、連携、交流を推進する幼保・小中連絡協議会や懇談会が設けられている地区もあり、職員も参加している。また、市内二つの高校とは、校長レベルや、担当者レベルでも交流を図り、本市として育てたい子供像を共有している。



臨時非常勤職員について

金子議員 恒常的な業務に就いている、臨時非常勤職員の割合はどの程度か。

総務部長 臨時非常勤職員は期限付きであり、恒常的に業務に就いている職員はいない。

金子議員 期限付きであっても業務は恒常的だと思うが。

総務部長 仕事の内容とこの部分だけで言えば、そういうことになる。

金子議員 恒常的な業務を行っているということ

松本市長 大切な仕事を

金子議員 2年前の総務省通知では、正規職員との格差を少なくし、通勤費や時間外手当相当分は費用弁償で支給できるとなっているが。

総務部長 合併当初、費用弁償のもの議論もあったが、一律でなくなった。ただ、総務省からそういう通知が出ているので、検討は当然すべきであると考えている。

金子議員 2年前の総務省通知では、正規職員との格差を少なくし、通勤費や時間外手当相当分は費用弁償で支給できるとなっているが。

総務部長 合併当初、費用弁償のもの議論もあったが、一律でなくなった。ただ、総務省からそういう通知が出ているので、検討は当然すべきであると考えている。

金子議員 恒常的な業務に就いている、臨時非常勤職員の割合はどの程度か。

総務部長 臨時非常勤職員は期限付きであり、恒常的に業務に就いている職員はいない。

金子議員 期限付きであっても業務は恒常的だと思うが。

総務部長 仕事の内容とこの部分だけで言えば、そういうことになる。

災害時の避難場所 の力への取り扱い の検討結果

総務部長 / 自治会連合会
の方に投げかけることを
考えている



高木 和 恵 議員

鉄道跡の利用

高木議員 鉄道跡に水道管を布設。その上を西小の通学路にする計画があると聞いたが。

水道部長 旧有家駅から旧北有馬駅まで、5.5kmを1m当たり190円で(株)鳥鉄と契約している。

教育次長 学校と協議した結果、現段階では白紙。

社協の補助金

高木議員 社協は27年度の10月、職員を1人懲戒免職にしている。補助金

は人件費等であるが返還は。

福祉保健部長 理事会でそのことに対する対処、処分も決まったが返還については承知していない。

納税組合の見直し

高木議員 市民は、納税組合及び納税組合長の存在自体を認識していない個人で納税している等の声がある。調査をして確認を。

松本市長 自治会連合会では話題にしたが、市民とはしていない。

高木議員 納税組合の成績を意識しているから、自治会への補助金は高額の5千万円以上の補助金や1千万円以上の組合長報酬(自治会長併任)の財源は何か。

財政課長 5千万円までは過疎債(借金)、後は一般財源、報酬は市税である。

高木議員 議員は補助金をチェックしているか。

松本市長 それを拒否することではない。

高木議員 自治会長は、

活動計画書や実績報告書を提出しているが、それらは公表可能か。

松本市長 議会にはできない。

高木議員 堂山自治会の補助金を検証した。世帯数は19件と聞いていたが、26年度の補助金は46件の平等割額6万円で計算、監査はしているのか。

監査事務局長 堂山団地と堂山は同じ自治会なので補助金の支出は間違っていない。

高木議員 堂山団地と堂山は別々の団体。市は28年度から堂山自治会を認めた。代表監査の報酬と監査の日数を。

監査事務局長 報酬は月13万円。例月監査は毎月午前中の半日。決算審査の正確な日数は覚えていない。

納税組合長による
集金実施組合数
組合総数 468 内 有家地区 120

実施組合 (有家地区)	
①東池田第1	14戸
②東池田第2	16戸
③久保田第1	9戸
④久保田第2	5戸

議会ミニミニ通信

宮城県気仙沼市議会のみなさんが南島原市を訪れました



大野木場砂防みらい館



土石流被災家屋保存公園

平成28年11月16日に宮城県気仙沼市議会の会派「新風の会」の4名が視察研修に訪れました。研修事項は「震災遺構の記録と展示について」であり、南島原市商工観光課の職員が対応しました。

研修は、深江町の「みずなし本陣」に集合したのち、「旧大野木場小学校被災校舎」、「大野木場砂防みらい館」、「土石流被災家屋保存公園」、「大火砕流体験館及び火山学

習館」の順に視察が行われました。

意見交換では、現在、国や県の管理となっている旧大野木場小学校と土石流被災家屋保存公園の管理のやり方や、雲仙普賢岳が噴火した当時の避難所生活の期間についての質問や、雲仙普賢岳の噴火と東北大地震が発生した当時の被害の受け方や状況の違いについての意見交換がありました。

委員会活動

総務委員長報告
文教厚生委員長報告
農林水産・建設委員長報告

このような協議をしました

総務委員長報告

議案6件を原案可決 請願1件を継続審査

(田中次廣委員長)

【議案第74号】南島原市教育長の給与、勤務時間その他勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例について

概要 教育委員会改革に伴う、関係法律の改正

によるもので、教育委員長と教育長が一本化され、これまでの一般職から特別職へと位置づけられる。

質疑 どのように改正されたのか。

【答弁】 教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置、教育長のチェック機能の強化と会議の透明化、総合教育会議をすべての地方公共団体に設置することの義務化、教育に関する大綱の首長による策定。

【質疑】 教育長の任期が4年から3年となった理由は。

【答弁】 地方公共団体の長の任期中に教育長を任命できる。教育委員より任期が短く委員のチェック機能が働く、3年の任

期があれば、計画性を持って業務を行うことができ

る。

【質疑】 これまで首長は教育環境の整備など、教育行政を行ってきたが、教育内容、方針について物が言えるようになるのか。

【答弁】 総合教育会議を設置し、教育委員会と協議等を行うようになった。

【議案第83号】平成28年度南島原市一般会計補正予算(第5号)

【質疑】 南島原市での、ふるさと応援寄附の取り組みは。

【答弁】 昨年度2億円の寄附をいただいた。

【質疑】 ひまわり観光協会への、熊本地震の被害に対する補助金があるが、来年度、決算で赤字の時は、再度補助金を出すのか。

【答弁】 地震という災害で減収になったことによる補助金なので、基本的には今回限りと考えてい

る。

【質疑】 熊本地震が落ち着いているようだが、回復の兆しは。

【答弁】 平成22年度から民泊事業に取り組み、27年度がピークになっており、28年度は増える見込みであったが、地震の影響で戻っていない。

【質疑】 南島原ひまわり村が、今回150万円を負担されたのか。

【答弁】 ひまわり観光協会の内部組織でひまわり村(民泊を実戦されている方の組織)の活動費から、100万円をひまわり観光協会に戻して頂いた。

【質疑】 ひまわり観光協会に市から役員として入って責任ある指導をすべきでは。

【答弁】 今回から課長が理事として入っている。

【質疑】 民泊数が170軒とのことだが、8町の状況は。

【答弁】 ひまわり村で、2町の地区でおこなっている。西有家・有家地区で57軒、南有家・北有家地区54軒、加津佐・口之津地区32軒、布津・深江

地区で25軒となっている。

【質疑】 ふるさと納税に對するお礼の品物は、農産物が多いが、その他何か考えていないのか。

【答弁】 随時、市内の業者さんの方に、ふるさと納税の取り組みに参加しませんかとお願いをしている。

現在JTBの商品数が288程度で、参加企業は60社、楽天と全日空が20社で130の商品を出している。

【質疑】 ふるさと応援寄附事業で、今回データ管理の業務委託をするとのことだが、全日空、楽天、JTBの3社の注文を、一括して地元業者に注文発注を行うことになるのか。

【答弁】 寄附者は全日空、楽天、JTBのホームページを見て、そこに寄附をする。(寄附額は最終的に市役所に入ってくる) それぞれの業者が、市内で契約している会社に発注をする。例えば寄附者が深江漁協のエビを希望だったら、その業者(全日空、楽天、JTB)から直接、深江の漁協のほう

に発注が来る。

【質疑】 寄附者の方から市役所の方に、注文したけど品物が来ないなどの問い合わせが来ても本人迄たどりつきのに時間がかかる。又、給与所得者が寄附した場合、確定申告不要で税控除を受けられる制度ができており、申請の受付に支障をきたすので一括管理する。

【質疑】 旧山口小学校に企業が入るとのことだが奨励金が発生するのか。

【答弁】 企業誘致の補助金は、立地から1年間の雇用状況などで金額が変わってくるので、開業から一年後の確定をもって補助金を出す。

【請願第4号】「有馬キリシタン遺産記念館」を以

前の「原城文化センター」の利用目的に戻すこと及び「有馬キリシタン遺産記念館」の展示物を南有馬庁舎に展示することを求める請願

委員より、環境が整っていないので継続審査をお願いしたいとの旨の発言があり。採決の結果、継続審査とすることに決定。

文教厚生委員長報告

(隈部和久委員長)

議案6件を原案可決、請願2件を採択

【議案第79号】南島原市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 対象者の待遇内容は変わらないのか。

答弁 所得制限限度額また福祉医療の支給制限については、変更はない。

【議案第80号】南島原市社会教育委員条例の一部を改正する条例について

質疑 現教育長の任期は、いつまでなのか。

答弁 平成30年8月10日までである。

質疑 教育委員長はどうなるのか。

答弁 現教育長の任期が切れる、平成30年8月11日以降は、教育委員長という職はなくなる。

小学校



質疑 今回の入札も4件の辞退があるが、どのような理由か。

答弁 再三、議会でも意見があり、助成の時期が現状と合わないという

【答弁】 辞退理由として、自社での履行の困難がある、メーカーとして販売店を支援する立場であるので受注ができない、仕入れる際の値引きがほとんどなく、定価を抑えることができない、技術者や作業員の確保ができないという理由での辞退である。

指導を受け、平成29年度当初予算の分を今回倒しし、入学準備金という形で組ませていただいた。



【福祉保健部関係】
質疑 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を広域圏で公募したが、応募事業者がなかった理由は。

【答弁】 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所というのは、都市の密集地であれば効率的であるが、本市のような地方では、採算が取れない等の理由で応募がなかったと考えられる。

【議案第81号】財産の取得について（小学校教職員用パソコン等）
質疑 小学校の就学援助事業費について、補正ではなく当初予算で組めなかったのか。

【答弁】 再三、議会でも意見があり、助成の時期が現状と合わないという

【請願第8号】芝生の競技施設整備に関する請願
意見として、先ほどの請願第5号も含め、請願によって、請願者や紹介議員が少なかったり、多かつたりすることに違和感を感じるという発言や、

人工芝なのか天然芝なのかという発言や、場所についての発言があった。反対討論はなく、賛成討論として島原市、雲仙市にはそれぞれ6面、4面のサッカーコートがある。競うわけではないが、本市の子供たちのために必要であると思う。また、場所、駐車場、芝の種類など、関係者の意見を十分にくみ上げながら、しっかりとした協議をして欲しい。また、施設を整備する際には、本市のスポーツ施設の構想をしっかりと見直し、計画を作るべきである。」という意見を付して採択することに決定。

須川港多目的防災広場



農林水産・建設委員長報告

(下田利春委員長)

議案1件を原案可決、請願1件を不採択

【議案第83号】平成28年南島原市一般会計補正予算

(第5号)

建設部より説明

梅雨前線豪雨による公共土木災害が逐次被害報告があり、災害箇所との増と災害査定額増による増額補正である。

質疑 災害は激甚災害に指定されているのか。

答弁 激甚の指定は平成28年8月17日になつているが、公共土木災害に

ついて本市は地域指定に入っていない。

質疑 査定に該当しない災害が出ているがどれくらいあるのか。

答弁 小災害26件、単独災害31件である。

質疑 小災害、単独災害についての、今後の対応は。

答弁 小災害の起債申請は、今から別途ある。

農林水産部より説明
主なものは、畜産クラ



平成28年6月豪雨被害

スター構築事業費、葉タバコ新品種導入経営安定化対策事業費、産地パワーアップ事業、地すべり等保全事業である。

質疑 農林水産基盤整備の有馬干拓の2次補正はどうなっているのか。

答弁 お願いはしているが、おそらく付かない可能性が高い。

質疑 もし、付かない時はどうするのか。

答弁 来年お願いしようと考えている。

質疑 農林は激甚に指定されているのか。

答弁 6月の豪雨については、激甚の指定は受けている。

質疑 農地災害や農業施設災害に該当しない分の対応は。

答弁 補助に漏れた分は、8割補助や原材料支給で対応している。

質疑 負担金が高く辞退された方が、金の目途が付いたとのこと、後で申請は出来るのか。

答弁 一定の期間をもつて締め切るの基本的



に難しい。次の年(過年度)には出来ない。

【平成27年請願 第10号】

TPP交渉に関する請願

反対討論 国会でも可決成立しており、今更反対するよりも、農業関係に対する対策や、補助をして貰う方に重きをおいた方がよいのではないのか。

深江支所東部水道班を南有馬上水道課へ一本化するについて

急きよ水道部より、深江支所にある東部水道班を南有馬上水道課へ一本化することについての説

迷惑をかけないように、各町の職員や指定業者にお願います。

答弁 現在も連休やお盆・年末年始には業者さんにお願ひして、その日の当番を決めている。

質疑 東部水道班の移動の提案は、行革からか、水道部からか。

答弁 水道部からの提案である。機構改革や庁舎再編が遅れており、当面の処置として、行革とも話している。

意見 機構改革の趣旨は十分理解するが、布津・深江は水道料金が安かった。何年かかかって一本化するということで、や

つと布津・深江の人は理解されつつある。水道班が抜けることで、サービス低下になったと言われないように、最初から注意して取り組んでほしい。他にも様々な意見や要望が出されました。



質疑 市民の皆さんに

総務委員会視察報告

平成28年10月14日(月)～16日(水)

群馬県富岡市

富岡製糸場の世界文化遺産登録後の富岡市の取り組み状況、及びそれを活かしたまちづくりについての視察研修を行った。

・ 富岡製糸場は、明治5年、明治政府が設立した官営の製糸場で、民営化後も一貫して製糸を行い、製糸技術開発の最先端として国内養蚕・製糸業を世界一の水準に導いた。

また、景観形成助成金制度を設定し、景観形成のために要する費用の一部を助成している。

富岡製糸場の世界文化遺産登録（平成26年6月登録）による経済効果と

見据えた街づくり計画を

見据えた街づくり計画を

見据えた街づくり計画を

見据えた街づくり計画を



富岡製糸場研修

策定することが急がれる。

石川県能美市

能美市は金沢へは、20キロの距離にあり、電車で25分、小松空港までは10分のところに位置し、金沢市への通勤圏であり、人口も増加し、現在5万人を超えている。

能美市は、北陸新幹線が金沢市までの開業により、観光客の増加が見込まれ、それをまちづくりや、観光振興にどのように取り組んでいるか、その効果等についての研修を行った。

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

観光への取り組みとしては、北陸新幹線金沢駅開業を見据え、今までの観光に対する施策を見直した。また、能美市観光

現在、長崎新幹線（九州新幹線西九州ルート）の平成34年開業をめざし、県内関係機関と協力して取り組んでいるが、南島原市の立地は、新幹線の路線から離れているため、長崎新幹線の開業効果がどの程度あるのか、予測が出来ない状況であるが、

国営東京臨海広域防災公園・基幹的広域防災拠点施設

国営東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報の取りまとめや、災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」等が置かれる防災拠点施設である。政治経済の中心であり、人口や機能が集積する首都圏で大規模災害が発生すると、甚大な被害が生じることが推測されることから、大災害に備え、首都圏の広域防災拠点と連携しながら、応急復旧活動を行う拠点として整備された施設。

平常時には、関係機関による防災情報の交換や訓練など、発生時に備えた活動や来園者を対象とする体験、学習、訓練が行われる。基幹的広域防災拠点施設は防災施設で

平常時には、関係機関による防災情報の交換や訓練など、発生時に備えた活動や来園者を対象とする体験、学習、訓練が行われる。基幹的広域防災拠点施設は防災施設で

平常時には、関係機関による防災情報の交換や訓練など、発生時に備えた活動や来園者を対象とする体験、学習、訓練が行われる。基幹的広域防災拠点施設は防災施設で

平常時には、関係機関による防災情報の交換や訓練など、発生時に備えた活動や来園者を対象とする体験、学習、訓練が行われる。基幹的広域防災拠点施設は防災施設で

平常時には、関係機関による防災情報の交換や訓練など、発生時に備えた活動や来園者を対象とする体験、学習、訓練が行われる。基幹的広域防災拠点施設は防災施設で

あり、特徴としては、建物全体を免震装置の上に配置したり、中央防災無線で全省庁及び全都道府県と接続出来る機能を備えている。

阪神淡路大震災をはじめ、昨年は熊本地震が発生するなど、日本においては、大災害がいつ、どこで発生するか分からない状況にある。

平成3年には、43名の尊い命が失われた雲仙普賢岳災害が発生している。

このようなことを教訓に、南島原市においても普段から大災害に対する取り組み、市民への防災意識の普及向上を図ることが重要である。

このようなことを教訓に、南島原市においても普段から大災害に対する取り組み、市民への防災意識の普及向上を図ることが重要である。

このようなことを教訓に、南島原市においても普段から大災害に対する取り組み、市民への防災意識の普及向上を図ることが重要である。

このようなことを教訓に、南島原市においても普段から大災害に対する取り組み、市民への防災意識の普及向上を図ることが重要である。

このようなことを教訓に、南島原市においても普段から大災害に対する取り組み、市民への防災意識の普及向上を図ることが重要である。

このようなことを教訓に、南島原市においても普段から大災害に対する取り組み、市民への防災意識の普及向上を図ることが重要である。

このようなことを教訓に、南島原市においても普段から大災害に対する取り組み、市民への防災意識の普及向上を図ることが重要である。



能見市研修



基幹的広域防災拠点施設研修

文教厚生委員会視察報告

平成28年11月14日(月)～16日(水)

佐賀県唐津市役所

本市において、新たな学校給食センターの建設計画の検討が開始され、本委員会としても、参考とすべく唐津市を訪問し、東部学校給食センターについての研修を行った。この施設は、唐津市の東部地区にあたる、旧来の4カ所の給食センターを集約している。8月に完成し、14校1園(平成29年1月から更に2校増)



唐津市役所研修

への配食を行っている。また、唐津市は、センター方式(4カ所)、自校方式(24校)、選択式併当方式の3方式を実施している。(平成28年9月現在)。これらの長所・短所についてや、食物アレルギーへの対応、食育への取り組みについて、地元食材の活用、更に東部給食センター建設整備についての質疑・応答を具体的にを行った。

福岡県八女市役所



八女市役所研修

高齢化率36%を超える本市において、高齢者の移動手段や、高齢運転者の事故予防への対策は、喫緊の課題であるとの認識のもと、平成25年度地域公共交通優良団体国交大臣表彰を受賞された八女市を訪れた。当市では、予約型乗合タクシーの方式を採用しており、事業の概要や導入までの経過(事業の背景、目的、取り組みの経過内容)、また今後の取り組みについて詳しく説明して頂いた。



予約センター研修

委員からは、運行エリアや稼働率、現状での課題等の質問や、本市の福祉タクシー券事業についての意見等が出た。

熊本県山鹿市役所

また、認知症対策も、今後さらに重要な課題であり、本市と、人口や高齢化率の形態が似ている山鹿市で、認知症支援事業についての取り組みを伺った。本市でも、対策については行っており、同様の事業もあったが、山鹿市では、地域や生活圏の人

の力を一番の資源と見なし、その繋がりを深め、見守り体制を構築する試みが参考になった。

熊本市扇田ふれあい広場パークゴルフ場

本委員会へ請願案件として、パークゴルフ場整備について付託され、継続審査としていた。今回我々委員会の知見、認識を深める為、規模的にあまり大きくない、同施設を視察し、実際にプレーを体験した。



◎今回の視察内容は、どこの地方自治体もが抱える課題であり、ベストの施策というものは、中々見つからないが、各々の市で知恵を絞って努力されてきた。私たちの南島原市にも、参考になる取り組みも幾つかあったので、今後の本市の施策に活かせるよう提案、提言していきたい。



パークゴルフ場研修



山鹿市役所研修

富良野市

*地域高規格道路(旭川十勝道路)の整備促進に関する要望

*地域高規格道路(富良野道路・富良野北道路)の整備促進に関する要望

*台風・大雨による災害状況

富良野市役所において、北市議会議長、建設水道部長・係長、川崎議会事務局長に対応いただいた。主な質疑応答。

Q 延長120キロメートルに及び計画の中で、



富良野市視察研修

中央部から着工された主な要因は。

A 富良野市が生活圏の主要地域であり、通勤、買い物等で渋滞が日常化している。

そんな中、観光シーズンには観光バス・マイカーの流入で、渋滞に一層の拍車がかかる。渋滞緩和策には高規格道路の早期建設しかないので要望活動を展開した。

Q 期成会には市長・議長・市議が入っていないようだが。

A 要望活動は各種団体や市民が主に活動すべきであり市長・議長は相談に乗る顧問である。議会には審査する側の機関であり、期成会には入らないが、推進はし、協力は当然する。

Q 行政はどのように関わっているのか。

A 住民への説明と意見集約、計画への対応、説明の繰り返し、住民に納得

得してもらい、建設促進活動への参加高揚を図る。

Q 台風・大雨被害状況は。

A 富良野市においては大きな被害はなかった。*災害現場を案内してもらったが未整備の川の護岸や道路の法面が崩落、小規模な倒木が流出した程度であった。

Q 主な農産物は、また、大雨被害状況は。

A にんじん、玉ねぎ、メロンが主である。一部で冠水被害があったが、最小限の被害で済んだと思っている。

南富良野町

南富良野町においては、視察受け入れ困難であり、大災害地域現地視察を行った。

【被災状況】

*馬鈴薯集荷場施設及び周辺地域は、かなりの幅員で流失しており、どこが川だったか、畑だったか判断できない状況であった。

*馬鈴薯集荷場もかなりの浸水・冠水を受けて、

外装や内装の工事中であり泥まみれの備品洗浄、山積みされた泥まみれの馬鈴薯など災害の凄さが一目瞭然であった。

*いたるところで復旧はされているが、生活道路の確保程度と思われ、復旧には程遠い。いたるところで線路敷きが流失し宙ぶりのレール、橋桁に引っかけた大量の竹木、広範囲に河川化した状況が長い距離続いていた。

*災害を大きくした原因は、大雨の想定がされて

なく、河川の護岸が未整備(土手のまま)で災害を大きくしたと感じた。

占冠村

占冠村では道の駅「自然体感しむかっぷ」について、占冠村づくり観光協会、新井会長、児玉専務に説明を受けた。

*道の駅の販売商品で農産物の品数が少ないのは、販売できる農作物を生産している農家が少ない。

*台風被害の道路事情で占冠ICが昨年の7倍の

通行量になり、地元では活気にあふれているが、一方では事故・渋滞のトラブルが起き、人口1,200人の静かな村に異変が起きている。

『委員長後記』

移動に丸一日ずつかかり、視察研修が25日で3カ所の広域を研修するという強行日程であったが、参加者全員の協力で熱心で有意義な研修ができた。今後の行政、議会活動に活かせる事と思う。



南富良野町被災地

賛否討論

平成27年 請願第10号 TPP交渉に関する請願

【概要】平成27年の9月議会で提出された請願。

TPP交渉に関する国会決議を遵守し、交渉から撤退することを求める意見書を政府関係機関に提出することを求める内容。

賛成討論① TPPの大筋合意は国会決議や自民党の公約に違反するものである。

こうした交渉を続けられれば、日本がさらに譲歩し、国益を全面的に投げ捨てることにつながりかねず、もはや国益を守るためには交渉から撤退する以外にない。

世論調査でも約70%の国民が慎重審議を求めているにも関わらず、安倍政権、自民、公明の与党、及び、維新の党の賛成でTPP協定及び関連法案の承認が強硬採決された。私は国民無視の安倍政権の姿勢に激しい怒りを感じている。

賛成討論② 現在の情勢は、意見書が出されたときと比べ、大きく変化している。また、アメリカの次期大統領トランプ氏はTPPには入らず、2国間

採決が分かれた議案のうち主な意見を紹介します。

協議をすると言っている。

反対討論① TPPはアジア太平洋地域に世界の国内総生産の4割を占める経済圏を構築し、自由で公平な貿易投資を実現するものである。

人口減少に直面する日本にとって、持続可能な経済成長のために、アジア太平洋地域の需要を取り組むことは必要であり、TPPにより日本のGDPが26%押し上げられ13・6兆円の経済効果の試算もされている。

農業等への影響についても、政府は、海外との競争にさらされても生き残れるよう体質強化や経営安定に向けた施策に取り組んでいる。

今は、意見書を提出するより、経営安定のための対応策を要望していくことが重要であると考えている。

反対討論② TPPについては南島原市の試算でも大きな被害が出るということであり、基本的に反対である。

しかし、既に国会を通過してしまっていることを考えると、今は農林漁業を守るための施策にしっかり取り組んでいく方向へ切り替えるべきだと考える。

平成28年 南島原市議会第4回定例会採決一覧

議員番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議員番号	議決結果	田中次廣	金子憲太郎	小林知誠	柴田恭成	高木和恵	吉田幸一郎	隈部和久	林田久富	小嶋光明	黒岩英雄	井上末喜	中村久幸	下田利春	川田典秀	隈部政博	吉岡巖	山本芳文	草柳寛衛	桑原幸治	松永忠次
議案第74号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第75号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第76号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第77号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第78号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第80号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成27年請願第10号	不採択	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○
発議第3号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※○：賛成、×：反対、－：欠席、△：棄権

平成28年 第4回定例会 議決結果報告

議案番号	件名	議決年月日	
報告第15号	専決処分報告について (損害賠償の額の決定について)	平成28年12月9日	受 理
議案第85号	南島原市戸別受信機整備工事請負契約の締結について	平成28年12月9日	原案可決
議案第74号	南島原市教育長の給与、勤務時間その他勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
議案第75号	南島原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
議案第76号	南島原市職員等の旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
議案第77号	南島原市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
議案第78号	南島原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
議案第79号	南島原市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
議案第80号	南島原市社会教育委員条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
議案第81号	財産の取得について(小学校教職員用パソコン等)	平成28年12月21日	原案可決
議案第82号	財産の取得について(中学校教職員用パソコン等)	平成28年12月21日	原案可決
議案第83号	平成28年度南島原市一般会計補正予算(第5号)	平成28年12月21日	原案可決
議案第84号	平成28年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	平成28年12月21日	原案可決
平成27年 請願第10号	TPP交渉に関する請願	平成28年12月21日	不採択
請願第5号	パークゴルフ場建設についての請願	平成28年12月21日	採 択
請願第8号	芝生の競技施設整備に関する請願	平成28年12月21日	採 択
報告第16号	専決処分報告について(損害賠償の額の決定について)	平成28年12月21日	受 理
発議第3号	南島原市議会委員会条例の一部を改正する条例について	平成28年12月21日	原案可決
発議第4号	「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書」の提出について	平成28年12月21日	原案可決
	閉会中における各委員会の継続審査・調査申し出について	平成28年12月21日	決 定

平成28年11月21日(月)に長崎県議会環境生活委員会が、視察のため南島原市を訪れました。研修は「道路災害について」、「上水道事業の取組みについて」の2つの項目でした。建設部と水道部が説明を行い、研修の終わりには活発な質疑応答が行われました。



長崎県議会環境生活委員会視察

そこが知りたい

市議会 Q & A

Q 市議会の役割は？

A 地方自治体では、首長(市長)と議会議員は、ともに直接選挙で選ぶ制度をとっています(二元代表制と言います)。

市議会は、市民に代わってその声を市政に反映し、市の意思を決定し、市の行政をチェックします(議事機関)。

市長は、予算や条例など議会の承認(議決)をつけて、福祉・教育や環境整備など市の仕事を行います。

Q 市議会議員になるには？

A 市議会議員は、4年ごとの選挙で市民の代表として選ばれます。市内に住んでいる満25歳以上の選挙権のある人なら誰でも立候補できます。(南島原市は来年度選挙があります)。当選した議員は、政党ごと、あるいは同じ考えを持つ議員で会派をつくることができます。(現在11会派あります)。

Q 市議会議員は何をしている？

A 議員は、議会の会議に出席し、議案が市民の福利の向上に役立つが、市民目線で審議決定しています。また会議に出席する前提として政策研究、立案のための活動も行っています。

市政や議会の様子を住民にお知らせし、市民の要望を聞いたり、各種の相談に応じる活動も大切な仕事にしています。

編集後記

南島原市議会だより43号が完成しました。

今回も議会広報編集特別委員での編集会議を経て、12月議会(第4回定例会)や議会活動をお届け致します。

毎号発行するにあたり、皆様に分かりやすい内容や表現になっているかなど、試行錯誤を重ねながら発行しております。

議会の活動を知って頂くための一助に成りますようお願いしております。

皆様からのご指摘など頂きながら、これからもよりよい議会だよりがお届け出来ますよう取り組んでまいります。

田中次廣

議会を傍聴しましょう!!
次回の定例会は2月21日開会の予定です。

南島原市議会は市民の皆様のお越しをお待ちしています。詳しくは議会事務局へお尋ねください。
 電話 **0957・73・6611**

議会広報編集特別委員会

- 委員長 金子憲太郎
- 副委員長 中村久幸
- 委員 田中次廣
- 委員 吉田幸一郎
- 委員 隈部和久
- 委員 下田利春
- 委員 松永忠次

【発行責任者】

議長 中村 一三